１年学年便り

１学年　学年だより NO. ９

令和２年９月２９日

以前、朝読書で「ファミレス」という本を読んでいて、気になる箇所があったので紹介します。

「正しくても優しくないこと、世の中には意外とたくさんあるんだと思います」

「逆に、たとえ正しくなくても優しいことだって、ありますよね、世の中って」

「正しさはもちろん大切なんですが、優しさのほうがもっと大切なんだと僕は思うし、生徒にもそう思っていてほしいんです。だって、正しさと正しさがぶつかってしまうこと、あるでしょう？戦争なんて、まさにそうです。でも、優しさと優しさはぶつからない。二つの優しさが出くわしたら、一つの大きな優しさになるんです」

・・・・・(中略)・・・・・

「優しさは間違いを許すことじゃなくて、認めることなんです。間違いを『なかったこと』にはしない、ということなんです。怒りを持ったまま、悲しみを持ったまま、それをまとめて包み込むことが、優しさなんだと思うんです」

そう言えば、「優しい」という漢字は、にんべんに憂うと書きます。憂うというのは、思い悩んだり、心配したりすること。だから、他人を思いやる気持ちを持った人のことを「やさしい」と言い、「優」という漢字が成り立ちました。

今年は休校期間があり、いつもとは年の進み方が違いますが、あと半年で次の学年に進みます。折角出会ったクラスです。１０月には体育祭も予定されていて、より一層のチームワークが求められます。楽しい思い出を作っていくためにも、一人一人が優しくなって、あちこちで優しさと優しさが出くわして、大きな優しさが生まれることを願っています。そして、協力し合いながら、逞しく成長することを願っています。　　（杉浦　治）

１０月の予定

日	曜	授業	予定・行事	日	曜	授業	予定・行事
9/28	月	A		15	木	D	歯科検診（７，８組）
29	火	B		16	金	E45	⑦委員会
30	水	C	SAT　⑤耳鼻科検診	17	土		
10/1	木	D	テスト週間開始	18	日		
2	金	E45	⑦委員会	19	月	A	放送朝礼　集金引き落とし日
3	土			20	火	B45	体育祭優先週間
4	日			21	水	C45	SAT
5	月	A	放送朝礼	22	木	D45	⑤⑥体育祭学年練習
6	火	B		23	金	E45	⑤⑥体育祭総合練習
7	水	C		24	土		
8	木	特	中間テスト①理②保体③英	25	日		
9	金	特	中間テスト①国②数③社	26	月	特	①Ｅ５②Ｅ６③Ｂ５④Ｂ６⑤Ａ１
10	土			27	火	B45	体育祭準備　Ｂ１～４・学
11	日			28	水	C	体育祭　※弁当持参
12	月	A	放送朝礼	29	木	D	歯科検診（１～６組）
13	火	B		30	金	E	体育祭予備日※弁当持参
14	水	C	SAT	31	土		

１１，１２月の主な予定

１１月２５日(水)　期末テスト①社②音③数
２６日(木)　期末テスト①英②技家③国
２７日(金)　期末テスト①理②美
③学活④火災避難訓練
１２月　７日(月)　朝礼
９日(水)　保護者会
１０日(木)　保護者会
１１日(金)　保護者会
２１日(月)　給食最終日
２２日(火)　飯森祭（文化祭）
２３日(水)　終業式

集金のお知らせ

１０月集金額　11,000円
〔内訳〕

学年費	2,200円
修学旅行積立	3,000円
給食費	5,800円
合　計	11,000円

※ 引き落とし日：１０月１９日(月)

体育祭に向け、クラスで団結して練習に励みましょう！(大縄跳び必勝法より抜粋)

生徒全員が守る約束

１　失敗した人は、自分から手を挙げて「すみません、私です」と謝る。
２　失敗した人を非難しない。
３　友達にアドバイスするのは、列が乱れた場合だけ。
４　「せーの、１、２、３、４・・・」と、全員が声をかける。
５　目標の数に近づいて緊張してきたら、より大きな声を出す。

●「回す」のではなく、「引いて張る」！
→びゅんびゅんごまの原理
→腕全体で縄を回すより、手首を小さく回旋（上下動）させ、縄が自然に回る性質を利用する。
「かまぼこ」→縄の理想的な形！
・・・上にある時はきれいな円を描き、足の下を通す瞬間は水平にすばやく抜くイメージ
高さは、真ん中で跳んでいる子どもの頭上５０ｃｍ以上はほしい
●補助ラインを引き、いつもそこに着地できるようになる練習
→「エアー跳び」をしたり、大波小波をしたりして全員のタイミングを合わせていく

【大縄跳びの跳び方の基本技術10箇条！！】

1　声をそろえる(低く地面を這うような声はNG。高く張りのある声で。)
2　列の幅をそろえる(小さく前へならえの幅。)
3　真っ直ぐ並ぶ(前の人の頭以外は見えない状態。回し手を見たがるので注意。)
4　一定のリズムで跳ぶ(1秒で1回。後半疲れると速くなりがちなので注意。)
5　腕を使って真上に跳ぶ（1回旋1跳躍が基本。膝は曲げすぎない。自然落下。)
6　列を整える(詰まったら背中をたたき、広がったら肩をたたいて知らせる。)
7　姿勢を良くする(お尻が落ちていると後ろにだんだんずれる。腰が曲がっていると前にずれる。体幹を意識して真っ直ぐ。)
8　列の端には体力のある子(端にいくほど高く跳ぶ必要があるため。)
9　列の真ん中にリーダー(最初に手を挙げて列を整え、左右を見て指示を出す。)
10　全員で跳ぶ(最重要。跳んでいない人も役割を持つ。)